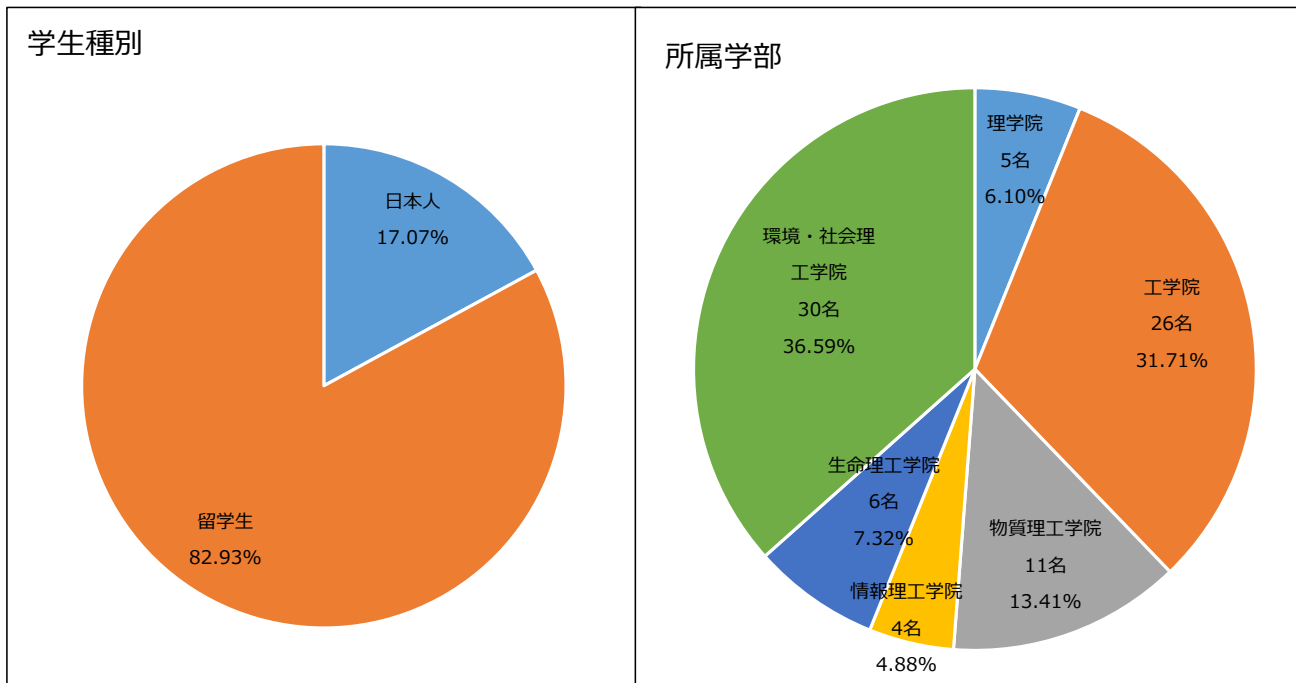


令和4年度9月修了予定者 教育改善に関するアンケート〈修士課程〉

基本統計量

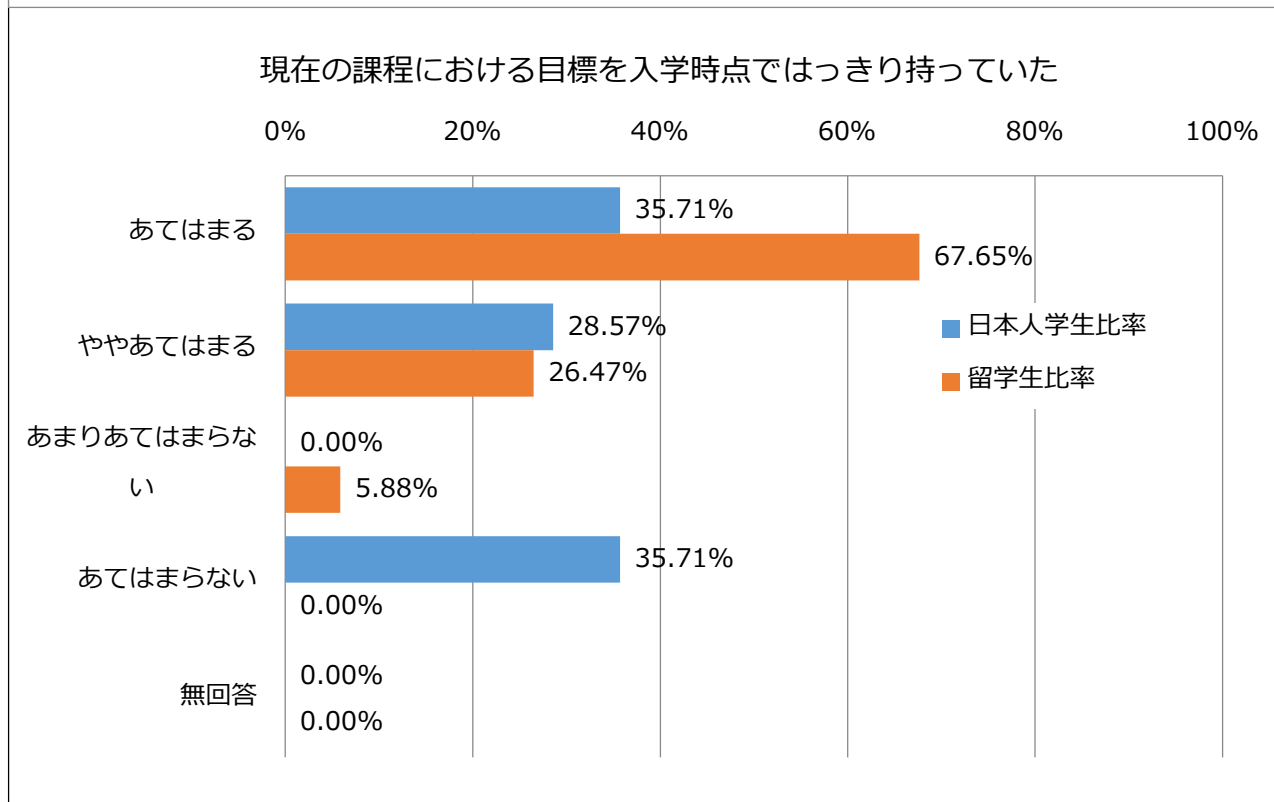
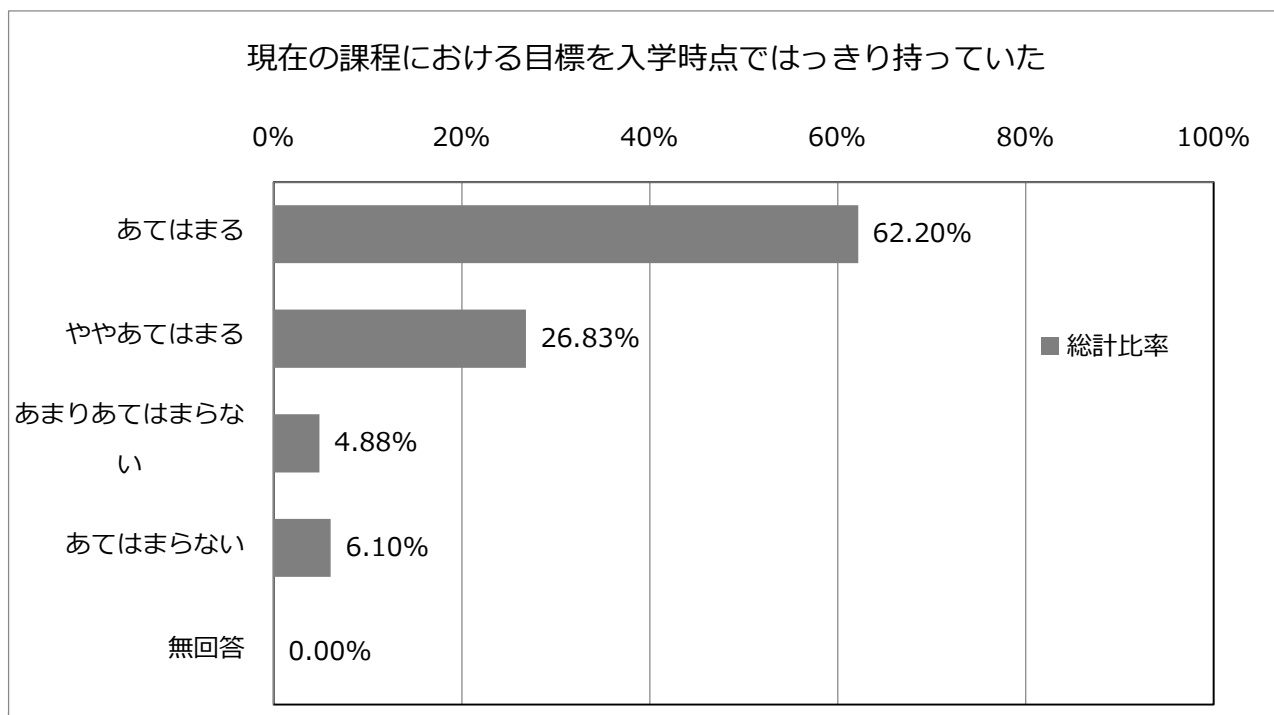


学生種別	人数	割合
日本人	14	17.07%
留学生	68	82.93%
総計	82	100.00%

所属学部	日本人学生	留学生	総計	割合
理学院	2	3	5	6.10%
工学院	5	21	26	31.71%
物質理工学院	2	9	11	13.41%
情報理工学院	0	4	4	4.88%
生命理工学院	0	6	6	7.32%
環境・社会理工学院	5	25	30	36.59%
総計	14	68	82	100.00%

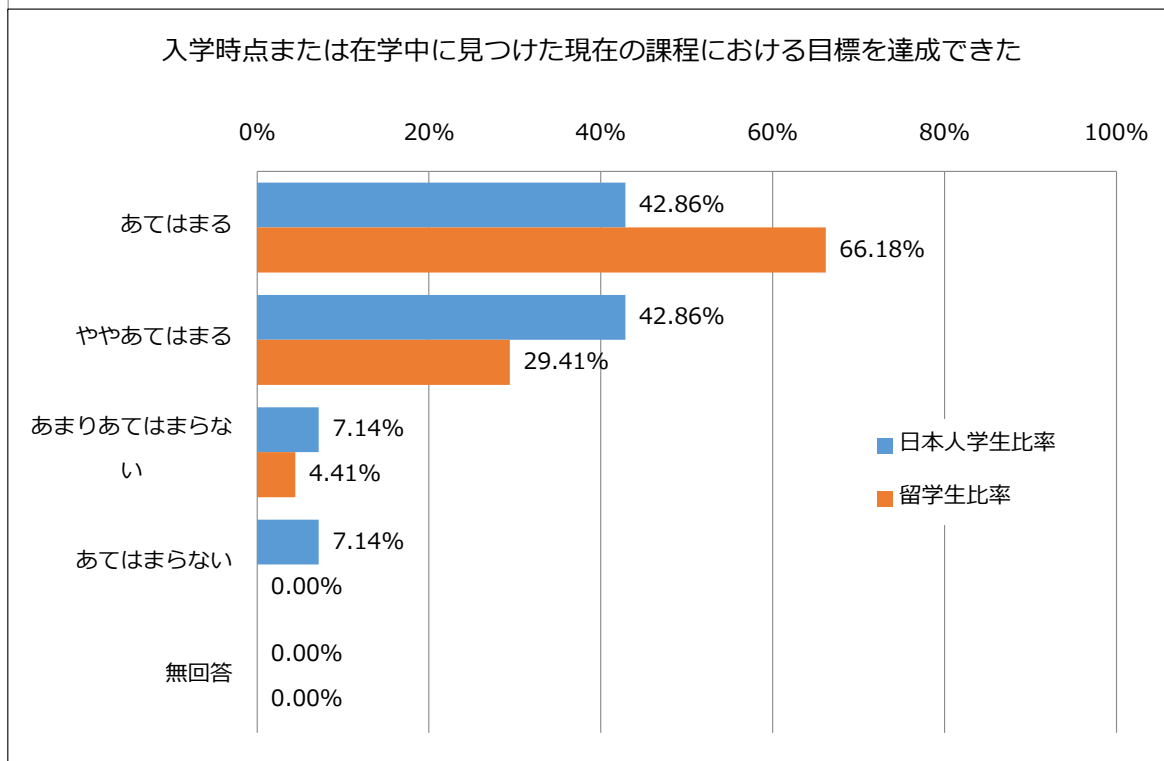
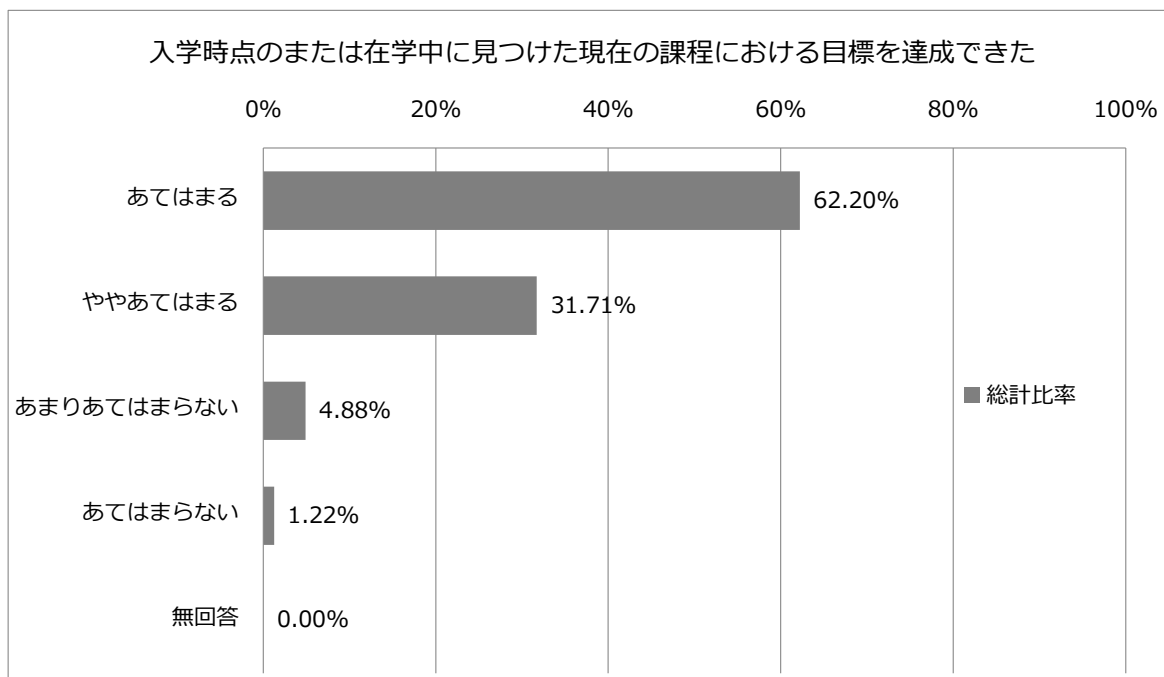
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

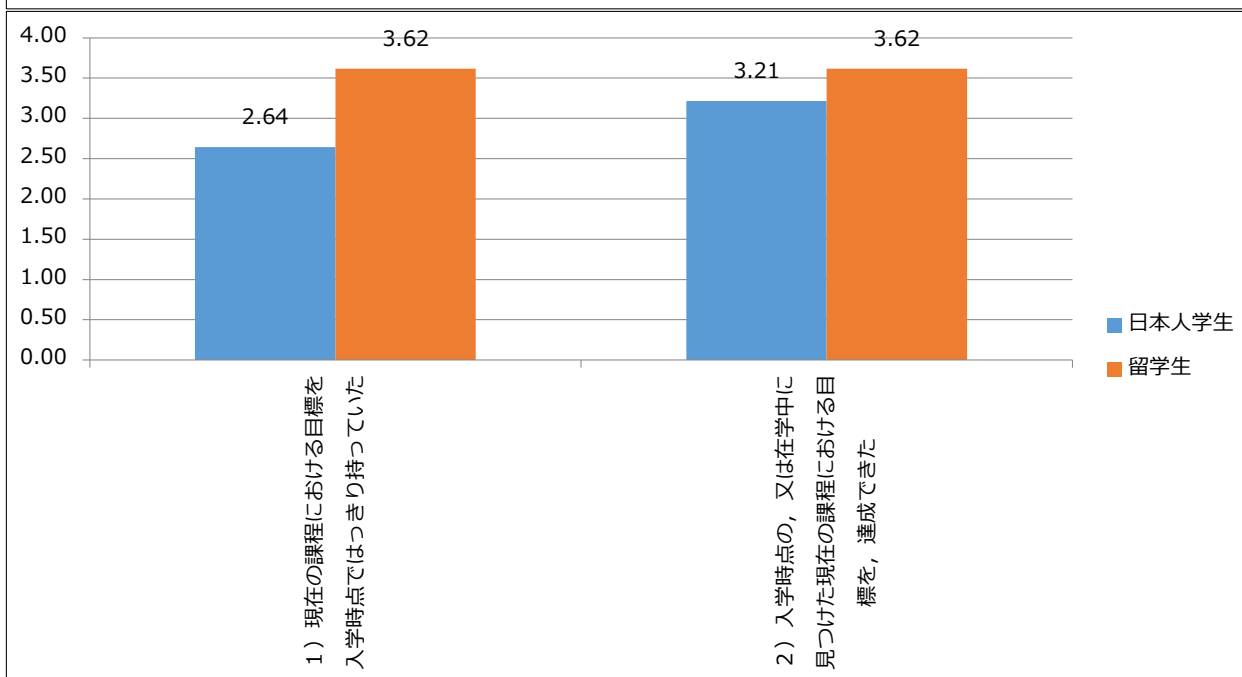
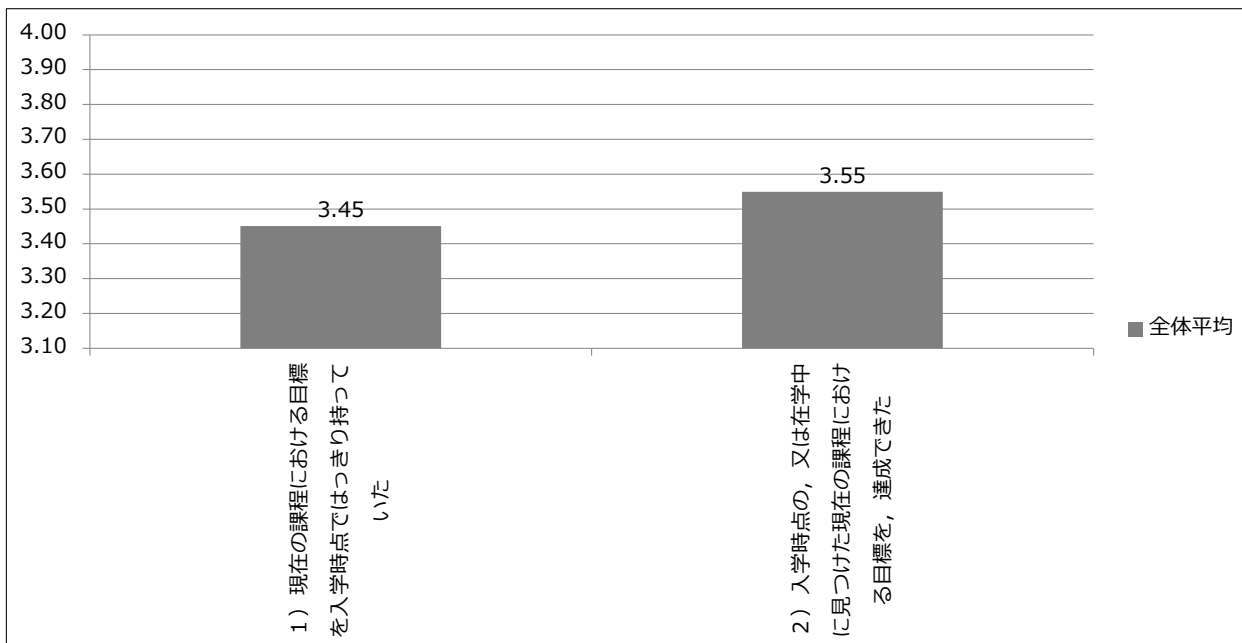
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.45	2.64	3.62
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.55	3.21	3.62

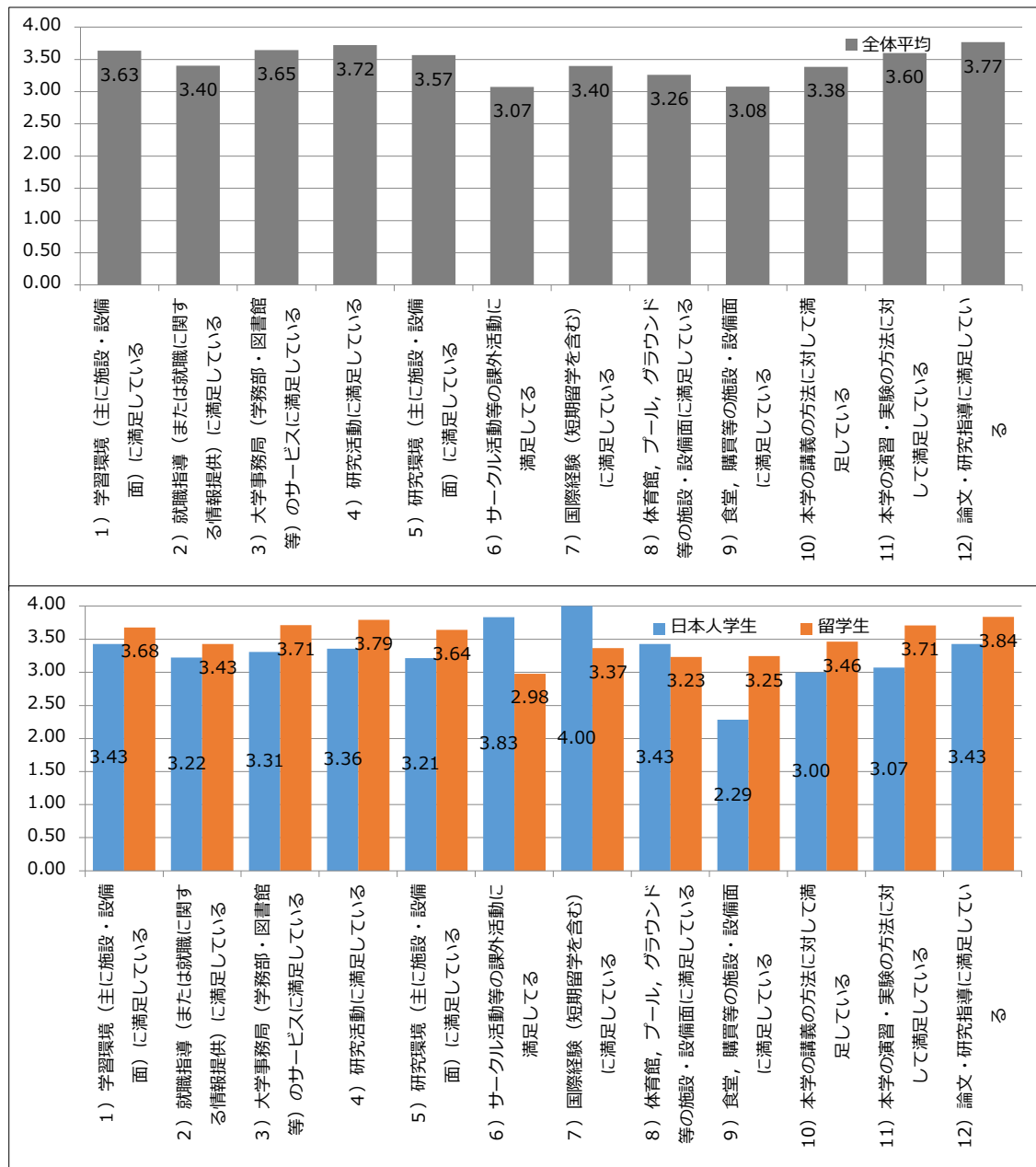
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.63	3.43	3.68
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.40	3.22	3.43
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.65	3.31	3.71
4) 研究活動に満足している	3.72	3.36	3.79
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.57	3.21	3.64
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.07	3.83	2.98
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.40	4.00	3.37
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.26	3.43	3.23
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	3.08	2.29	3.25
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.38	3.00	3.46
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.60	3.07	3.71
12) 論文・研究指導に満足している	3.77	3.43	3.84

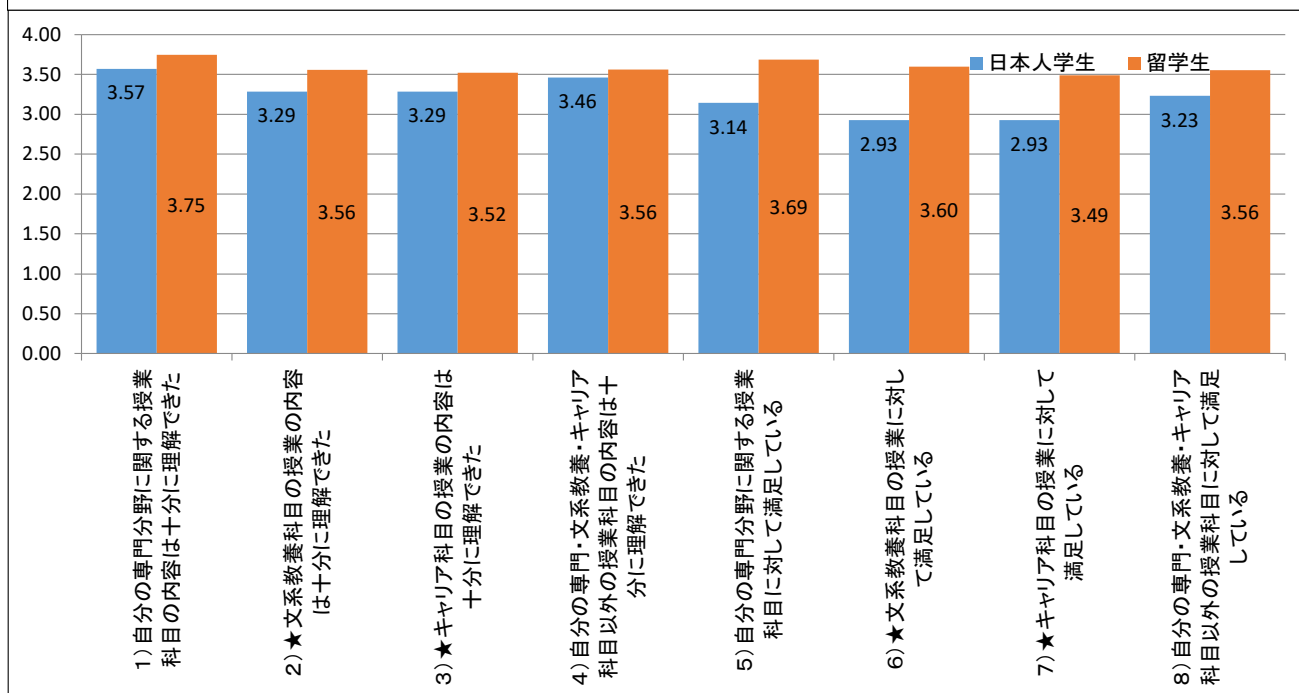
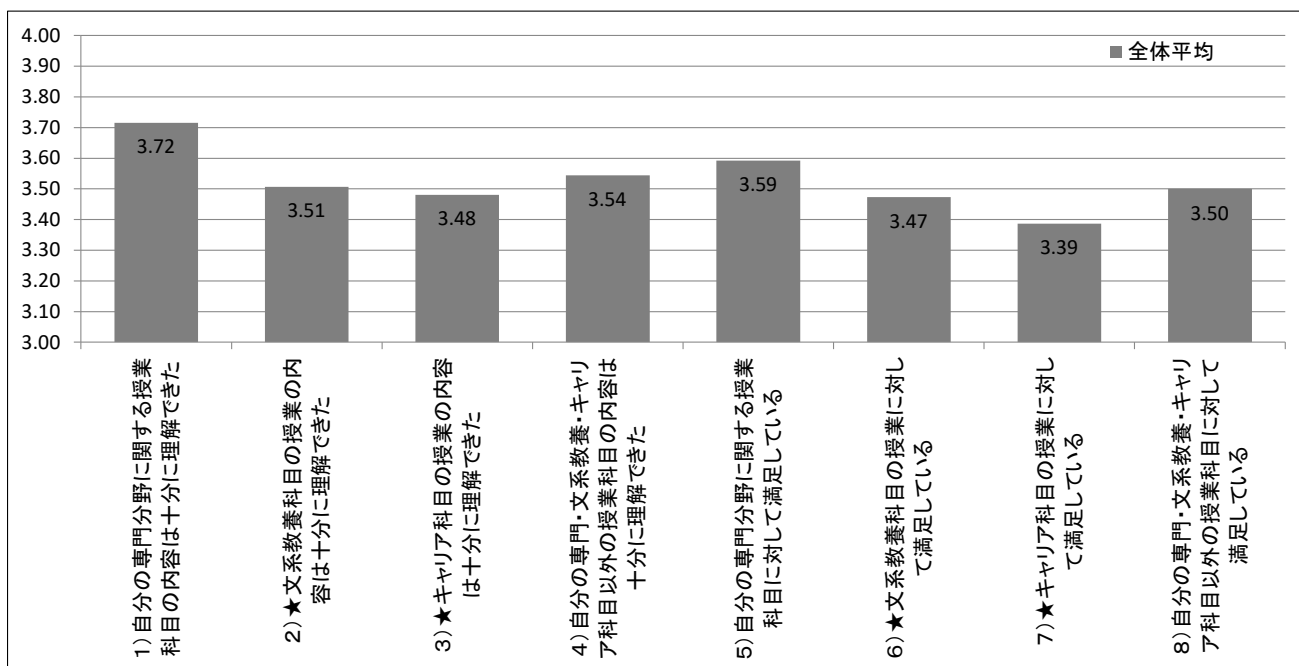
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.72	3.57	3.75
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.51	3.29	3.56
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.48	3.29	3.52
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.54	3.46	3.56
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.59	3.14	3.69
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	3.47	2.93	3.60
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	3.39	2.93	3.49
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.50	3.23	3.56

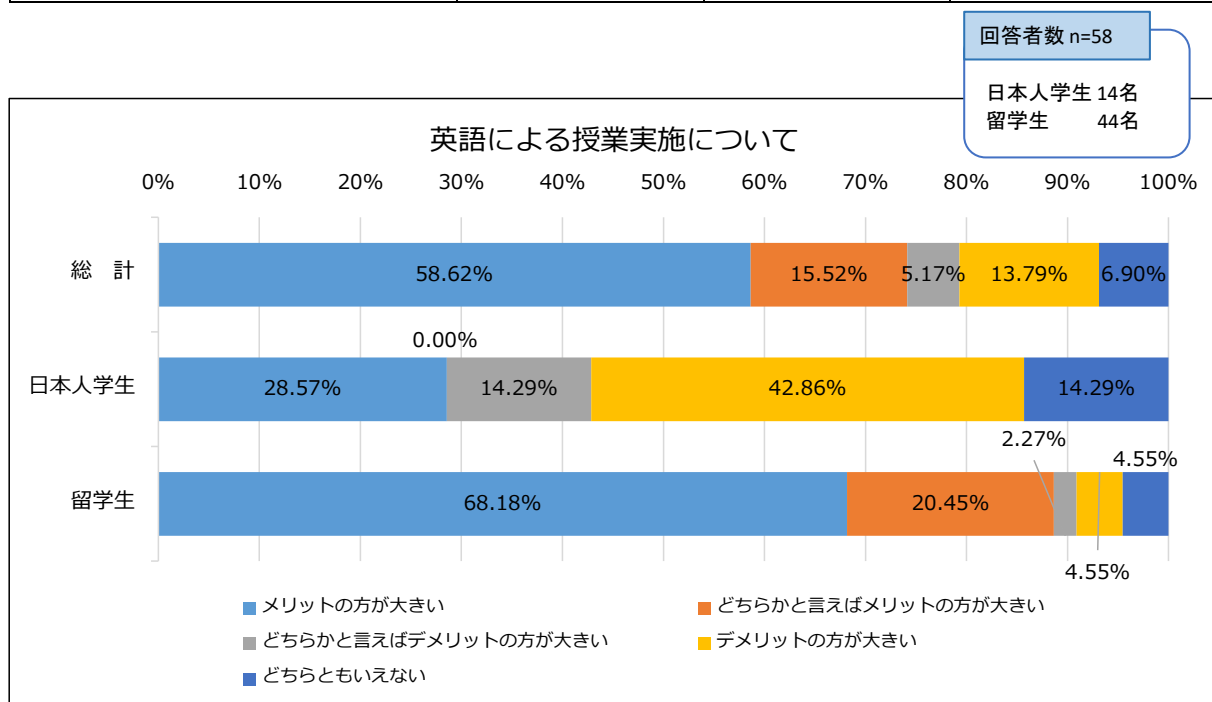
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

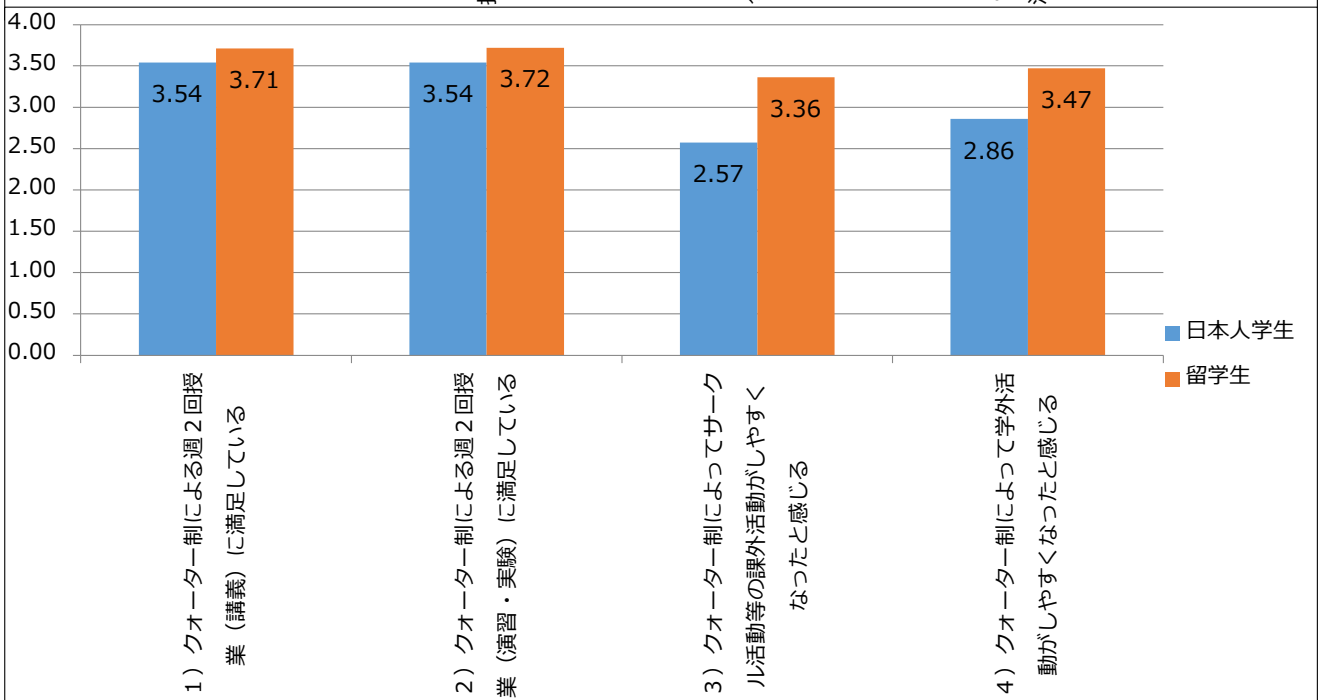
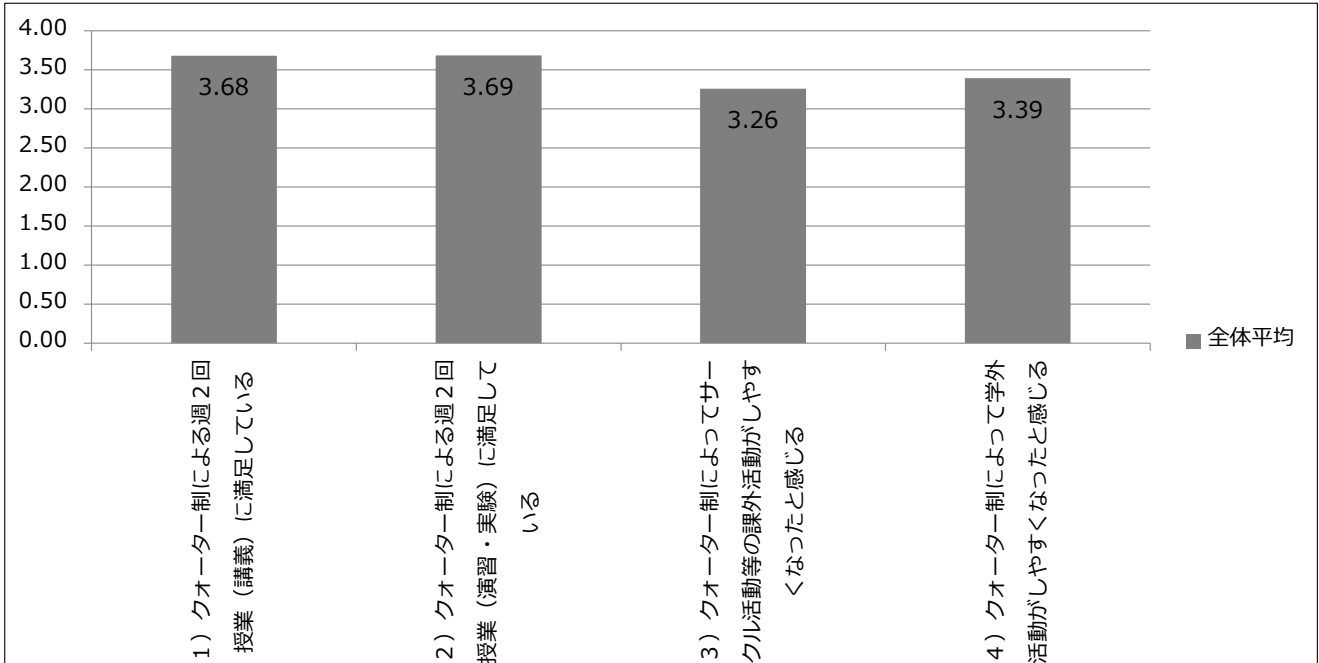
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
メリットの方が大きい	34名	58.62%	4名	28.57%	30名	68.18%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	9名	15.52%	0名	0.00%	9名	20.45%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	3名	5.17%	2名	14.29%	1名	2.27%
デメリットの方が大きい	8名	13.79%	6名	42.86%	2名	4.55%
どちらともいえない	4名	6.90%	2名	14.29%	2名	4.55%
回答者計	58名	100.00%	14名	100.00%	44名	100.00%
無回答	24名		0名		24名	



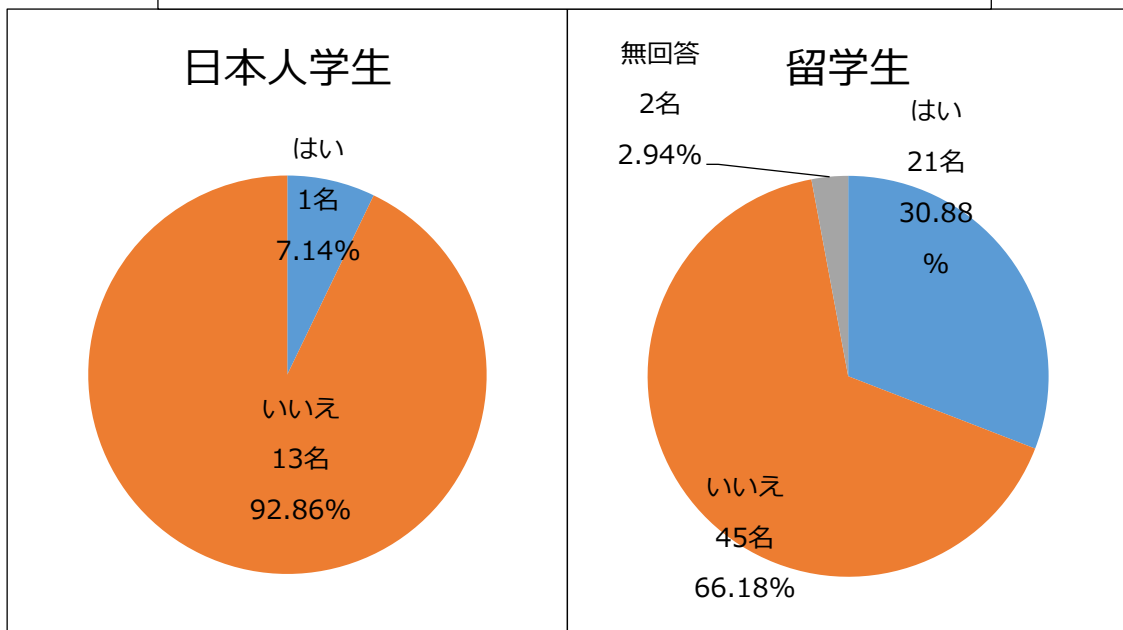
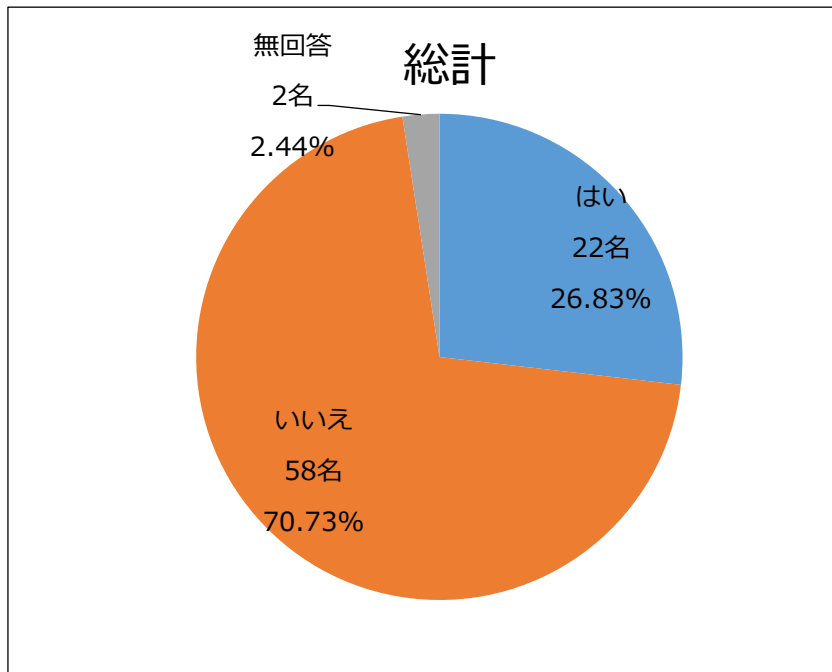
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.68	3.54	3.71
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.69	3.54	3.72
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	3.26	2.57	3.36
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	3.39	2.86	3.47

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

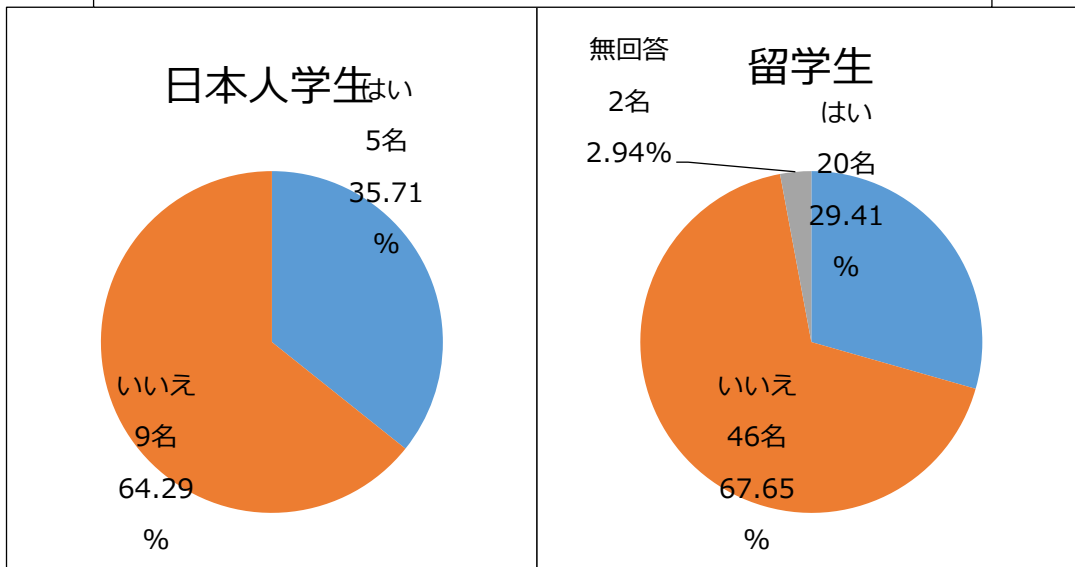
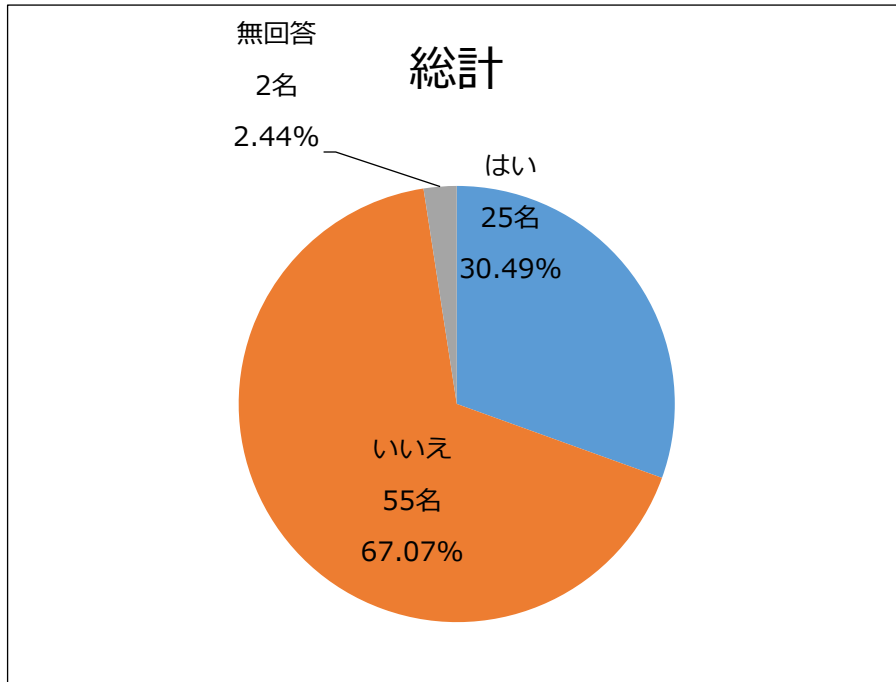


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

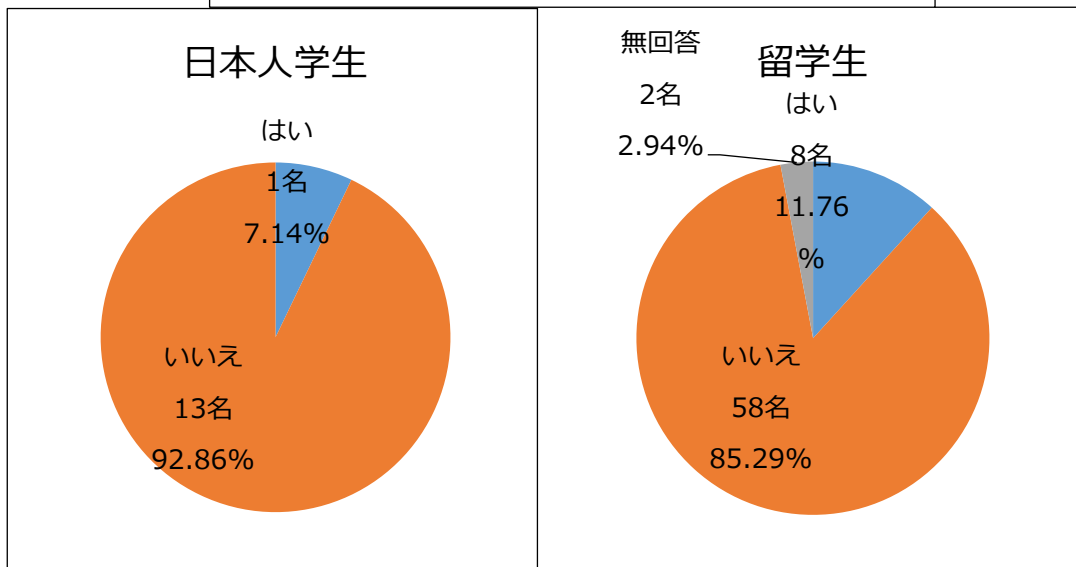
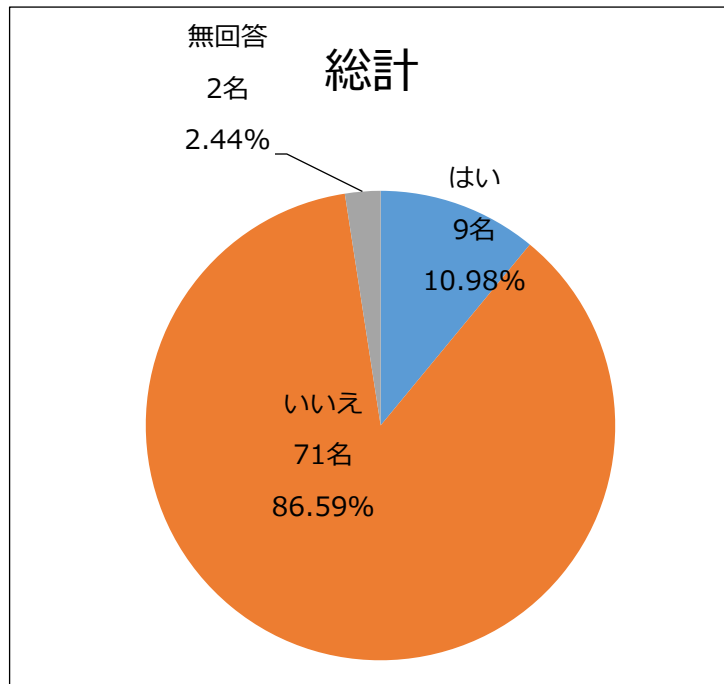


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



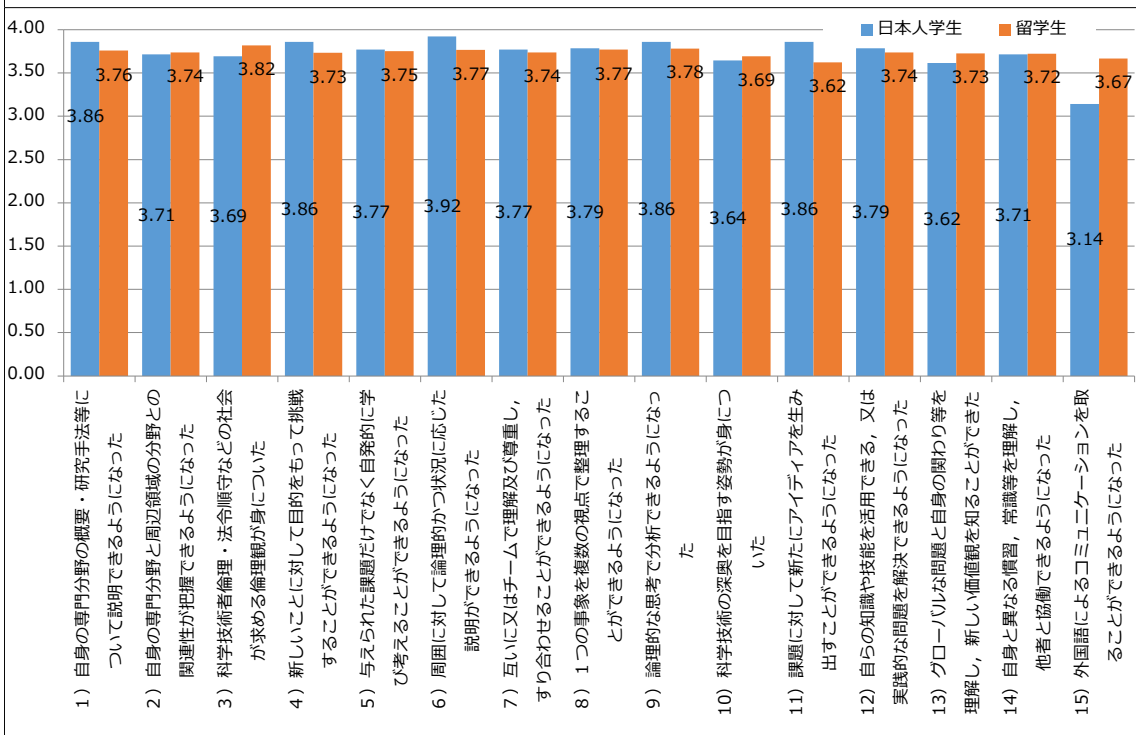
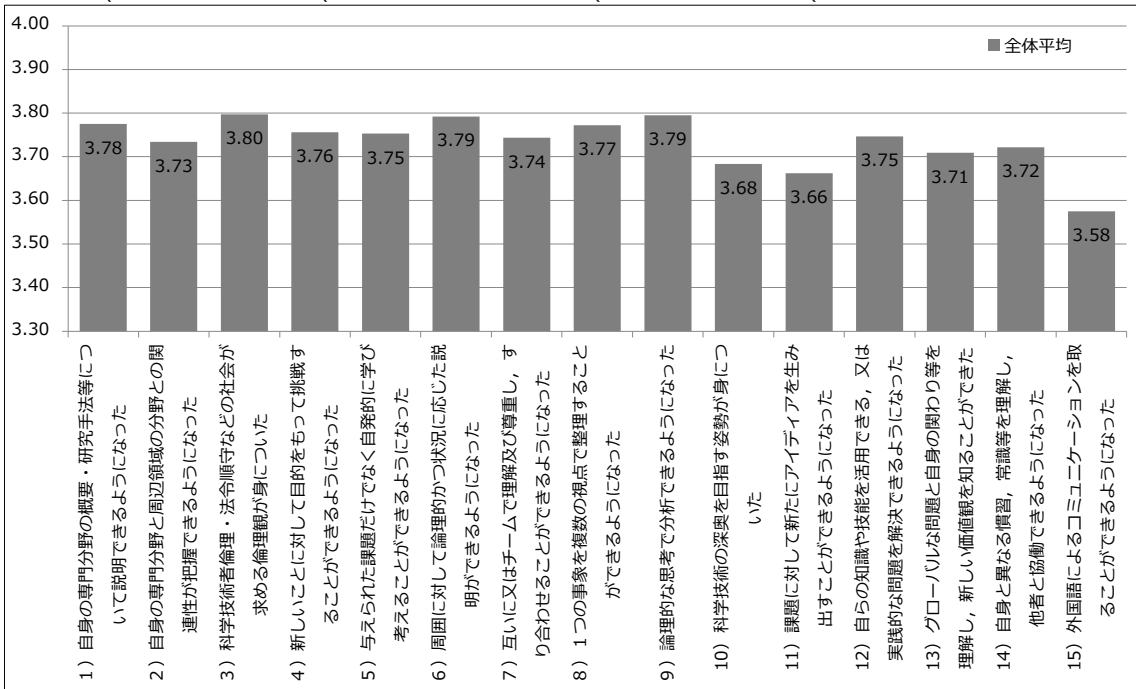
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.78	3.86	3.76
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.73	3.71	3.74
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.80	3.69	3.82
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.76	3.86	3.73
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.75	3.77	3.75
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.79	3.92	3.77
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせることができるようになった	3.74	3.77	3.74
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.77	3.79	3.77
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.79	3.86	3.78
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.68	3.64	3.69
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.66	3.86	3.62
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.75	3.79	3.74
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.71	3.62	3.73
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.72	3.71	3.72
15) 外国語によるコミュニケーションを取ることができるようになった	3.58	3.14	3.67

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

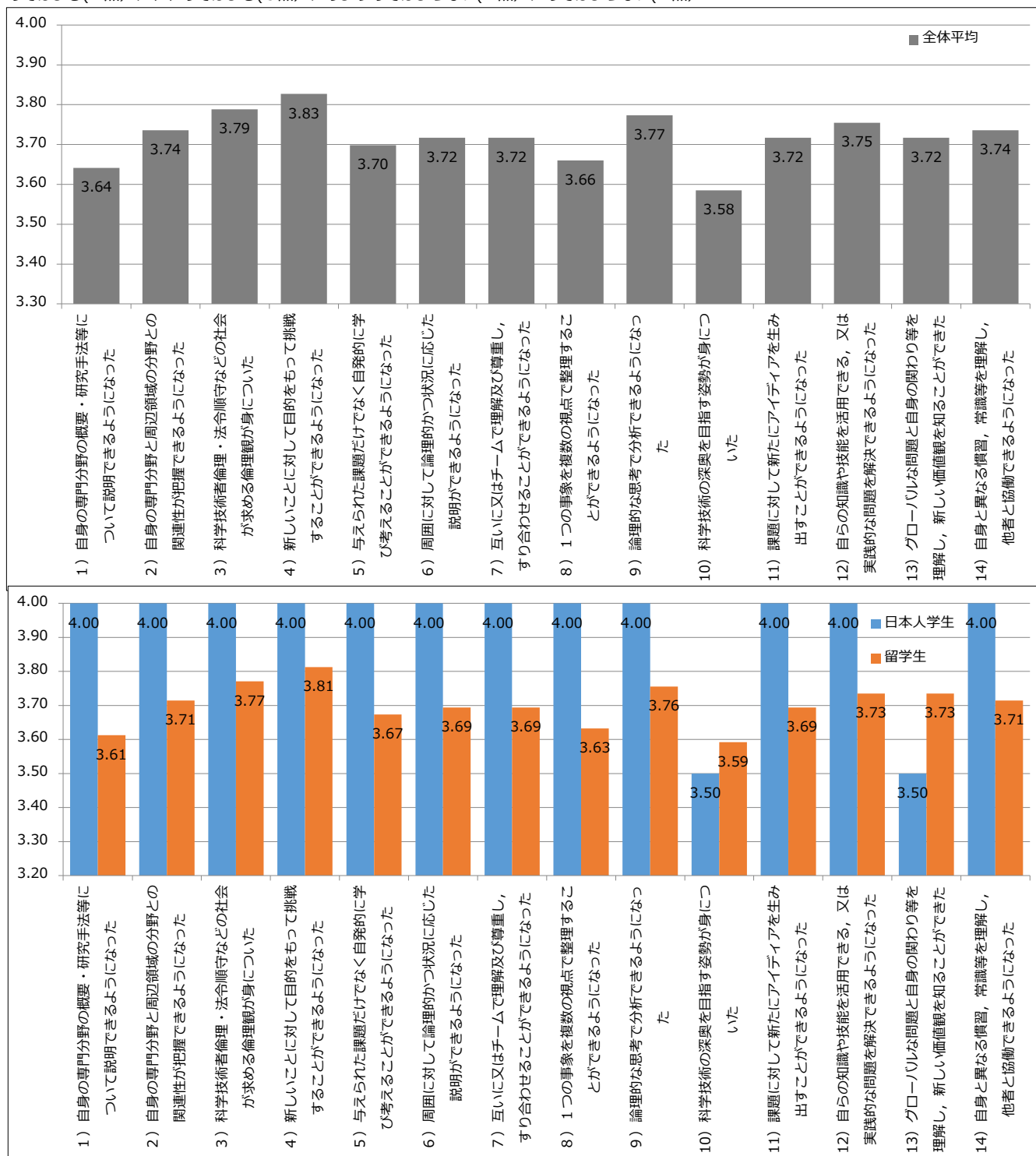


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【コア学修科目】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.64	4.00	3.61
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.74	4.00	3.71
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.79	4.00	3.77
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.83	4.00	3.81
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.70	4.00	3.67
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.72	4.00	3.69
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.72	4.00	3.69
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.66	4.00	3.63
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.77	4.00	3.76
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.58	3.50	3.59
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.72	4.00	3.69
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.75	4.00	3.73
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.72	3.50	3.73
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.74	4.00	3.71

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

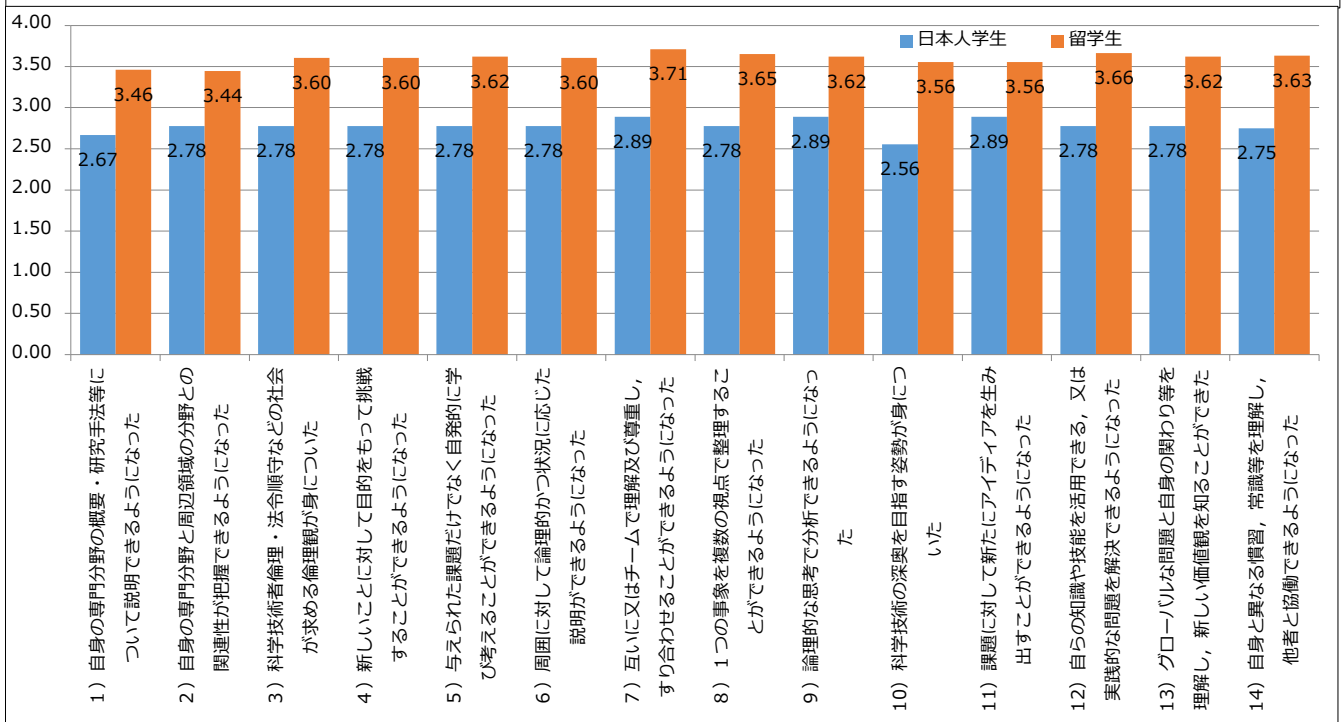
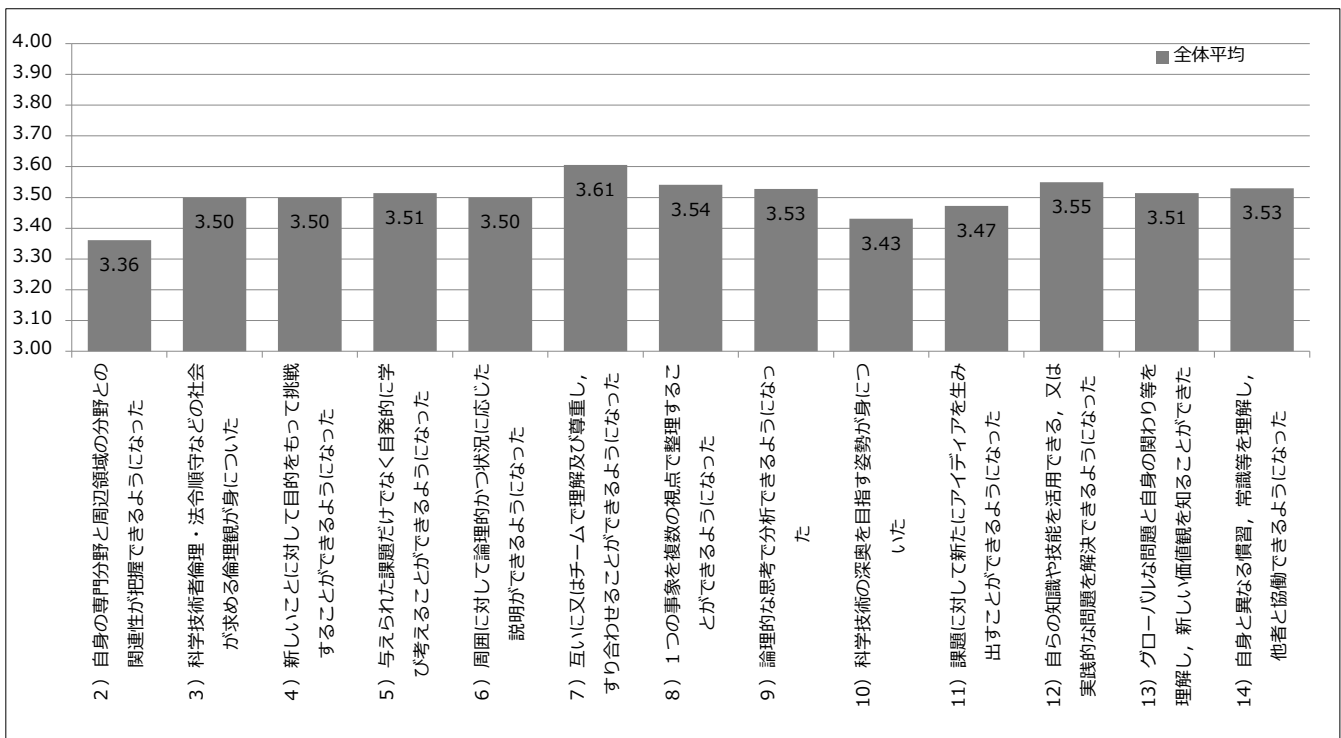


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【文系教養科目(コア学修科目以外)】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.36	2.67	3.46
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.36	2.78	3.44
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.50	2.78	3.60
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.50	2.78	3.60
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.51	2.78	3.62
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.50	2.78	3.60
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.61	2.89	3.71
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.54	2.78	3.65
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.53	2.89	3.62
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.43	2.56	3.56
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.47	2.89	3.56
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.55	2.78	3.66
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.51	2.78	3.62
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.53	2.75	3.63

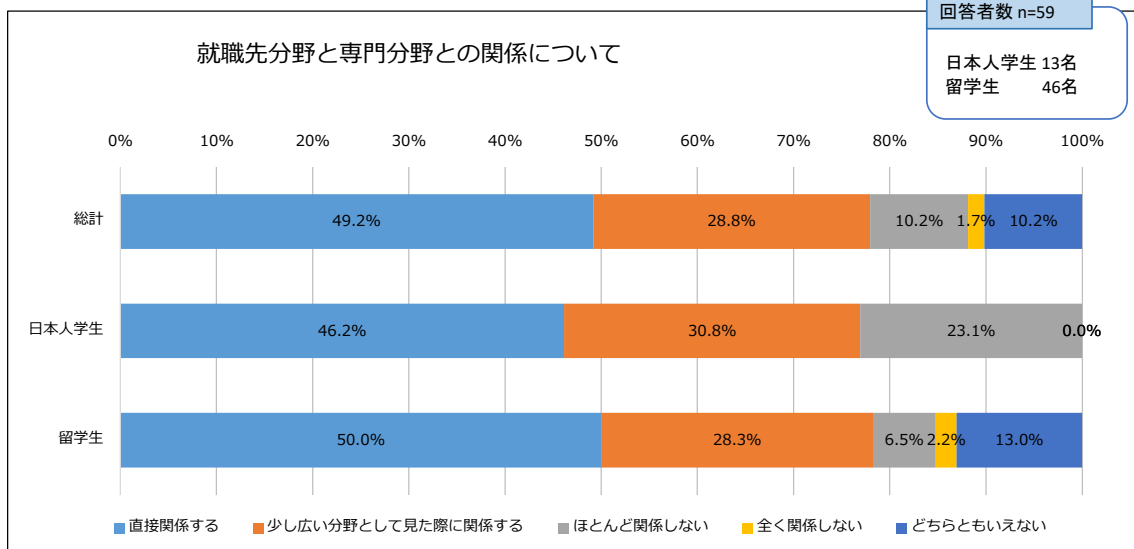
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8 就職までに至るまでの状況について

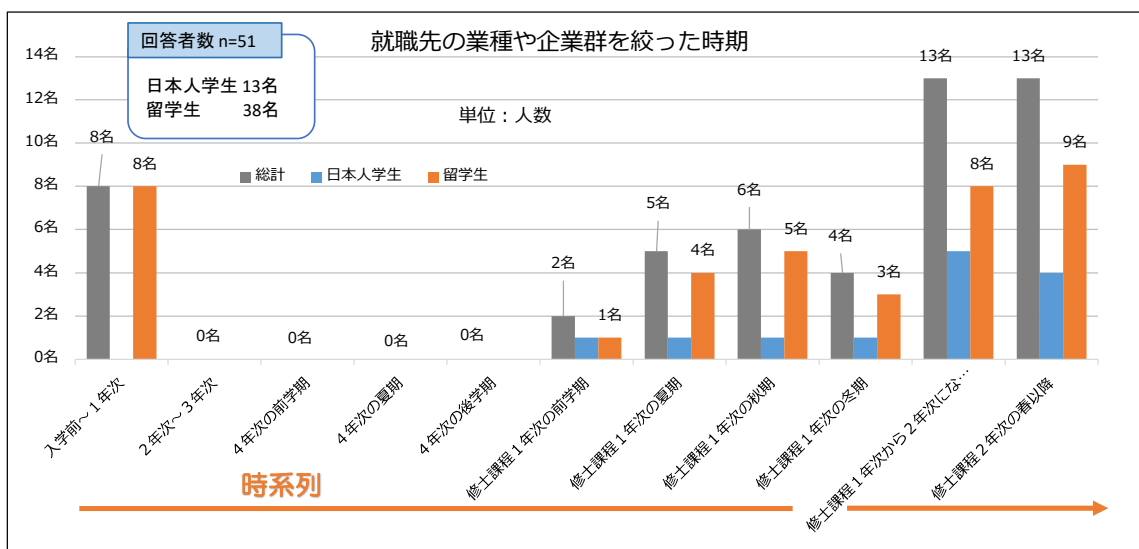
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	29名	49.2%	6名	46.2%	23名	50.0%
少し広い分野として見た際に関係する	17名	28.8%	4名	30.8%	13名	28.3%
ほとんど関係しない	6名	10.2%	3名	23.1%	3名	6.5%
全く関係しない	1名	1.7%	0名	0.0%	1名	2.2%
どちらともいえない	6名	10.2%	0名	0.0%	6名	13.0%
回答者計	59名	100.0%	13名	100.0%	46名	100.0%
無回答	23名		1名		22名	



4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について、最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	8名	15.69%	0名	0.00%	8名	21.05%
2年次～3年次	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の前学期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の後学期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	2名	3.92%	1名	7.69%	1名	2.63%
修士課程1年次の夏期	5名	9.80%	1名	7.69%	4名	10.53%
修士課程1年次の秋期	6名	11.76%	1名	7.69%	5名	13.16%
修士課程1年次の冬期	4名	7.84%	1名	7.69%	3名	7.89%
修士課程1年次から2年次になる春期	13名	25.49%	5名	38.46%	8名	21.05%
修士課程2年次の春以降	13名	25.49%	4名	30.77%	9名	23.68%
回答者計	51名	100.00%	13名	100.00%	38名	100.00%
無回答	31名		1名		30名	



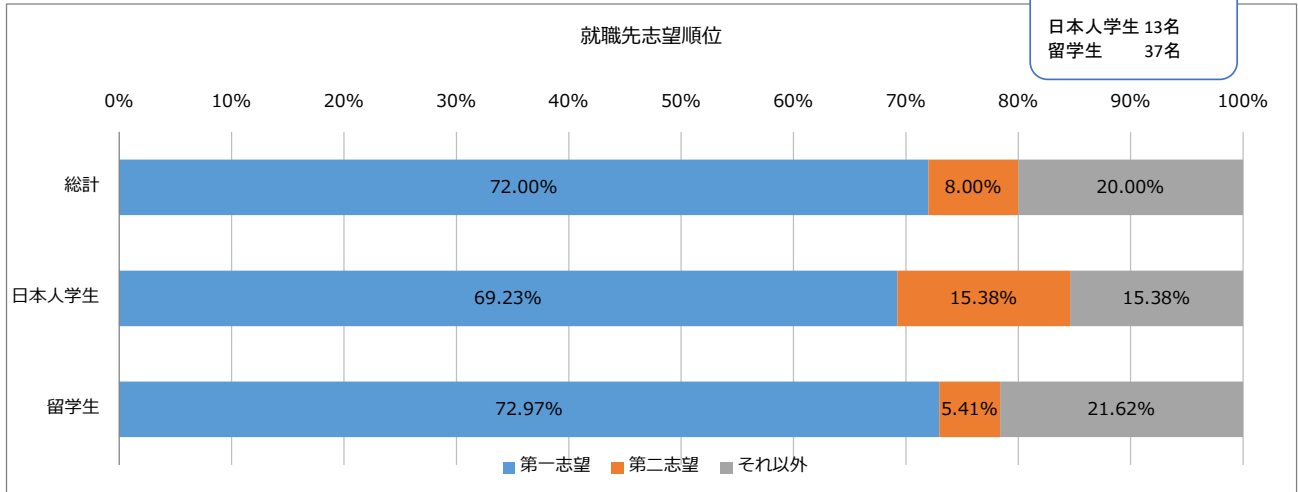
問8 就職までに至るまでの状況について

5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	36名	72.00%	9名	69.23%	27名	72.97%
第二志望	4名	8.00%	2名	15.38%	2名	5.41%
それ以外	10名	20.00%	2名	15.38%	8名	21.62%
回答者計	50名	100.00%	13名	100.00%	37名	100.00%
無回答	32名		1名		31名	

回答者数 n=50

日本人学生 13名
留学生 37名

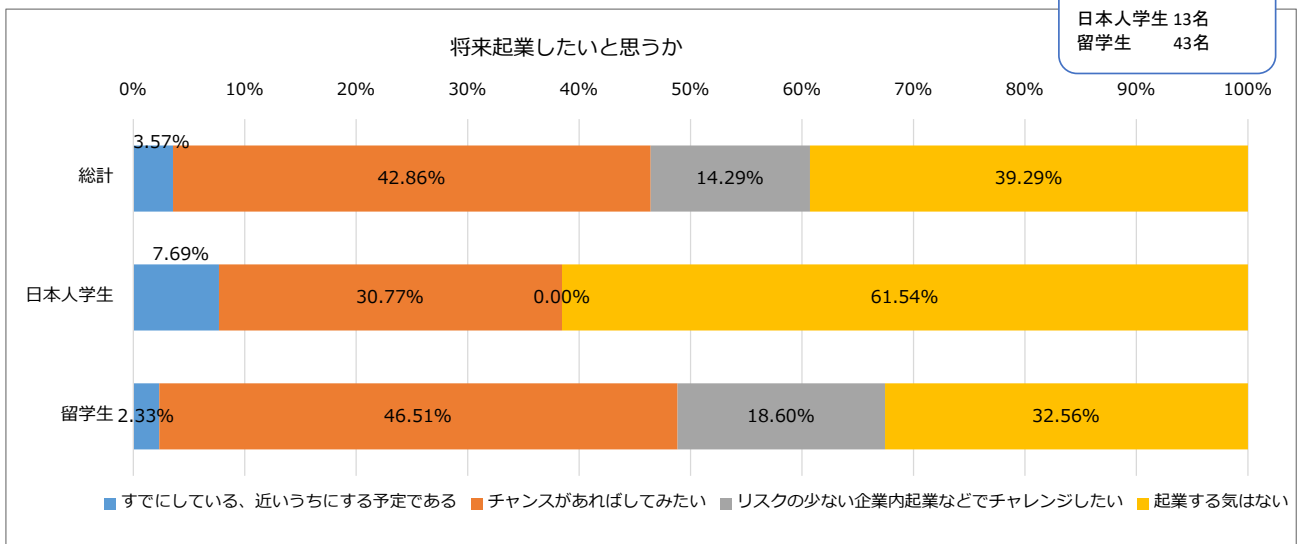


6) 将来的に起業したいと思いませんか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでにしている、近いうちにする予定である	2名	3.57%	1名	7.69%	1名	2.33%
チャンスがあればしてみたい	24名	42.86%	4名	30.77%	20名	46.51%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	8名	14.29%	0名	0.00%	8名	18.60%
起業する気はない	22名	39.29%	8名	61.54%	14名	32.56%
回答者計	56名	100.00%	13名	100.00%	43名	100.00%
無回答	26名		1名		25名	

回答者数 n=56

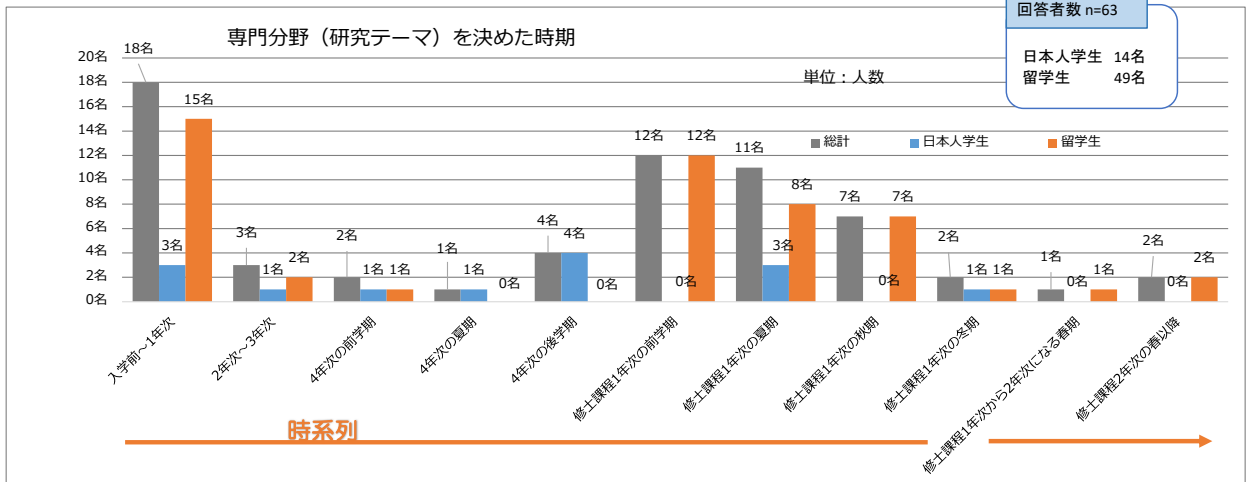
日本人学生 13名
留学生 43名



問8 就職までに至るまでの状況について

7) いくつか具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

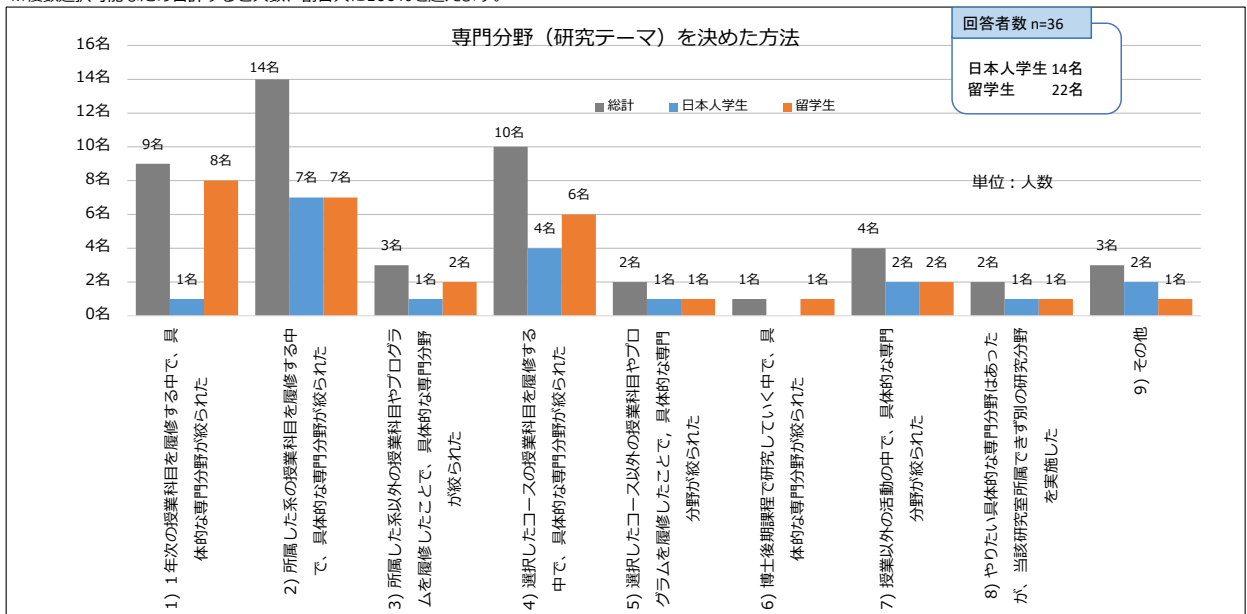
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	18名	28.57%	3名	21.43%	15名	30.61%
2年次～3年次	3名	4.76%	1名	7.14%	2名	4.08%
4年次の前学期	2名	3.17%	1名	7.14%	1名	2.04%
4年次の夏期	1名	1.59%	1名	7.14%	0名	0.00%
4年次の後学期	4名	6.35%	4名	28.57%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	12名	19.05%	0名	0.00%	12名	24.49%
修士課程1年次の夏期	11名	17.46%	3名	21.43%	8名	16.33%
修士課程1年次の秋期	7名	11.11%	0名	0.00%	7名	14.29%
修士課程1年次の冬期	2名	3.17%	1名	7.14%	1名	2.04%
修士課程1年次から2年次になる春期	1名	1.59%	0名	0.00%	1名	2.04%
修士課程2年次の春以降	2名	3.17%	0名	0.00%	2名	4.08%
回答者計	63名	100.00%	14名	100.00%	49名	100.00%
無回答	19名		0名		19名	



8) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていきましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	9名	25.00%	1名	7.14%	8名	36.36%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	14名	38.89%	7名	50.00%	7名	31.82%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	3名	8.33%	1名	7.14%	2名	9.09%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	10名	27.78%	4名	28.57%	6名	27.27%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	2名	5.56%	1名	7.14%	1名	4.55%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	1名	2.78%	0名	0.00%	1名	4.55%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	4名	11.11%	2名	14.29%	2名	9.09%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	2名	5.56%	1名	7.14%	1名	4.55%
9) その他	3名	8.33%	2名	14.29%	1名	4.55%
回答者計	36名	100.00%	14名	100.00%	22名	100.00%
無回答	46名		0名		46名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

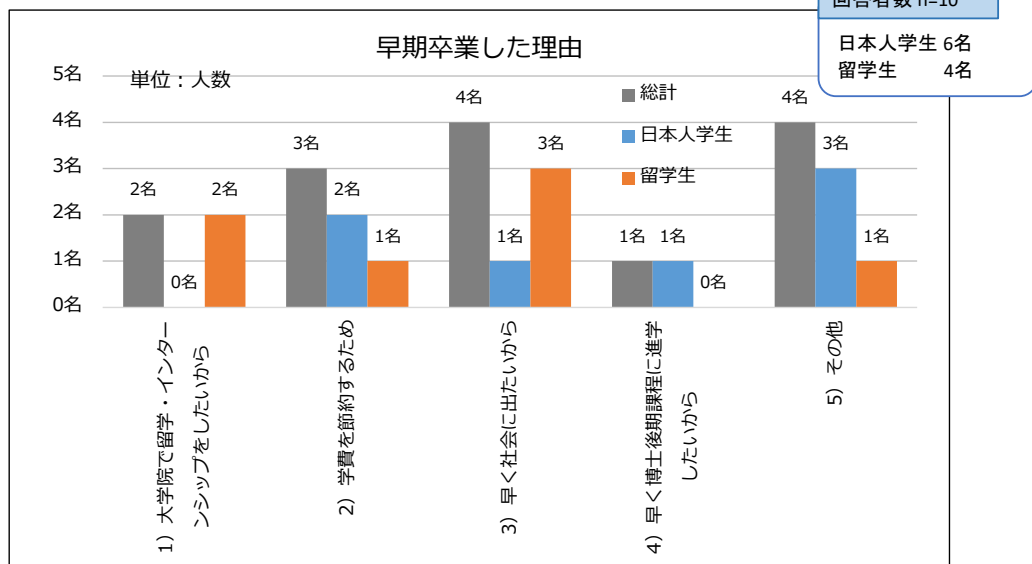


問8 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから	2名	20.00%	0名	0.00%	2名	50.00%
2) 学費を節約するため	3名	30.00%	2名	33.33%	1名	25.00%
3) 早く社会に出たいから	4名	40.00%	1名	16.67%	3名	75.00%
4) 早く博士後期課程に進学したいから	1名	10.00%	1名	16.67%	0名	0.00%
5) その他	4名	40.00%	3名	50.00%	1名	25.00%
回答者計	10名	100.00%	6名	100.00%	4名	100.00%
無回答	72名		8名		64名	

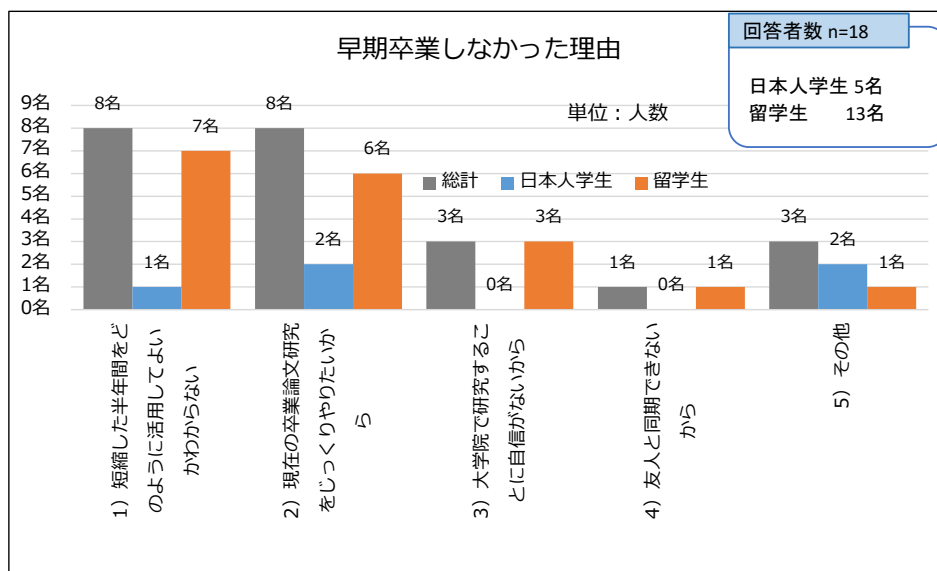
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

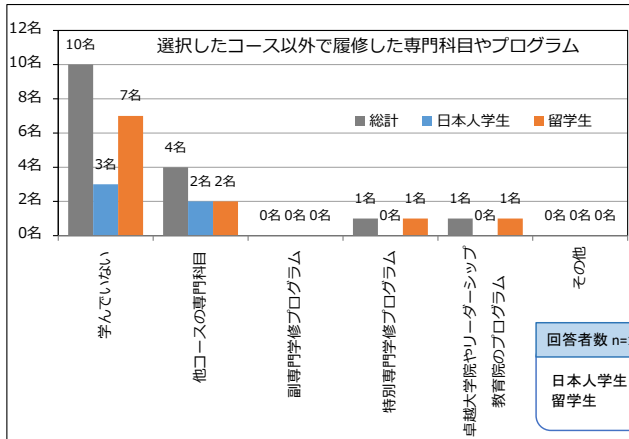
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	8名	44.44%	1名	20.00%	7名	53.85%
2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	8名	44.44%	2名	40.00%	6名	46.15%
3) 大学院で研究することに自信がないから	3名	16.67%	0名	0.00%	3名	23.08%
4) 友人と同期できないから	1名	5.56%	0名	0.00%	1名	7.69%
5) その他	3名	16.67%	2名	40.00%	1名	7.69%
回答者計	18名	100.00%	5名	100.00%	13名	100.00%
無回答	64名		9名		55名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8. 就職までに至るまでの状況について

11) 選択したコースのカリキュラム以外(文系教養科目、キャリア科目を除く)で履修した専門科目やプログラムを選択してください。(複数回答可)

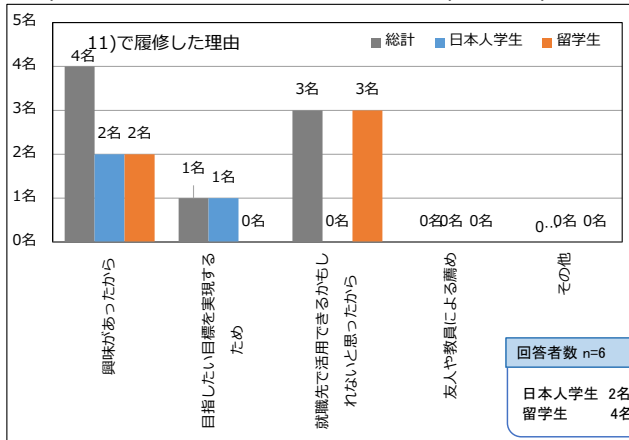


選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学んでいない	10名	63%	3名	60%	7名	64%
他コースの専門科目	4名	25%	2名	40%	2名	18%
副専門学修プログラム	0名	0%	0名	0%	0名	0%
特別専門学修プログラム	1名	6%	0名	0%	1名	9%
卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム	1名	6%	0名	0%	1名	9%
その他	0名	0%	0名	0%	0名	0%
回答者計	16名	100%	5名	100%	11名	100%
無回答	25名		2名		23名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

回答者数 n=16
日本人学生 5名
留学生 11名

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。(複数回答可)



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
興味があったから	4名	67%	2名	100%	2名	50%
目指したい目標を実現するため	1名	17%	1名	50%	0名	0%
就職先で活用できるかもしれないと思ったから	3名	50%	0名	0%	3名	75%
友人や教員による薦め	0名	0%	0名	0%	0名	0%
その他	0名	0%	0名	0%	0名	0%
回答者計	6名	100%	2名	100%	4名	100%
無回答	35名		5名		30名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

回答者数 n=6
日本人学生 2名
留学生 4名

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	10名	77%	1名	50%	9名	82%
そう思う	3名	23%	1名	50%	2名	18%
そう思わない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
全く思わない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
どちらともいえない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
回答者計	13名	100%	2名	100%	11名	100%
無回答	28名		5名		23名	

回答者数 n=13
日本人学生 2名
留学生 11名

